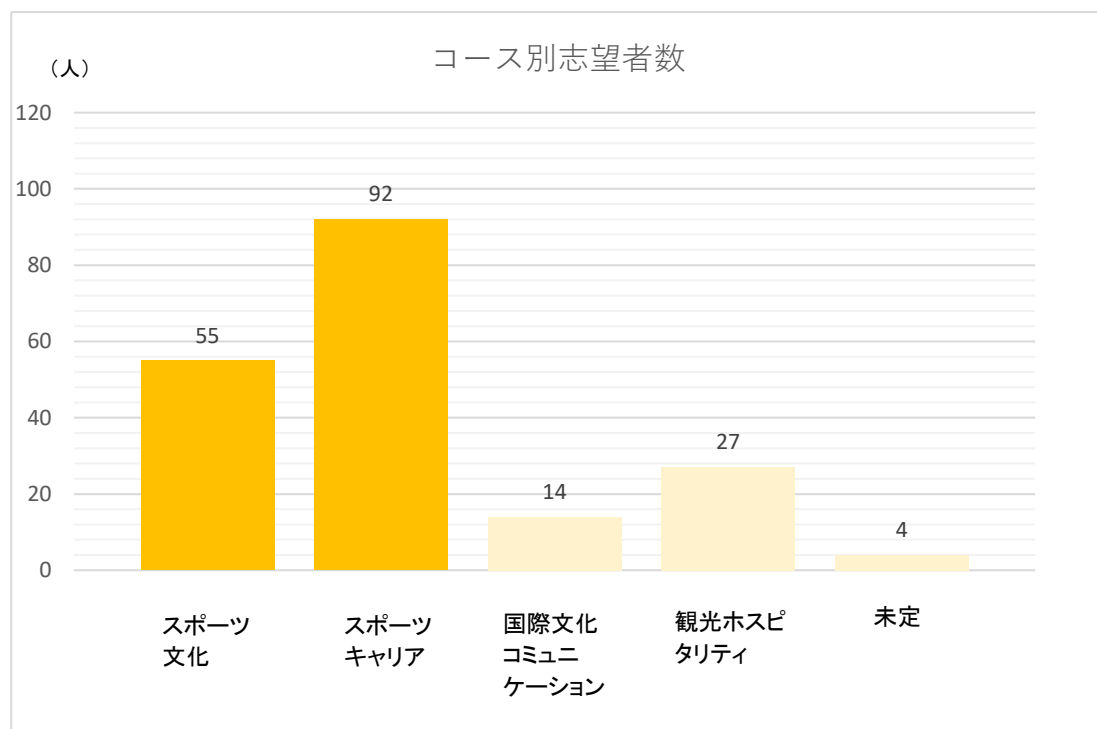


既設の学部（現代文化学部）のコース志望状況

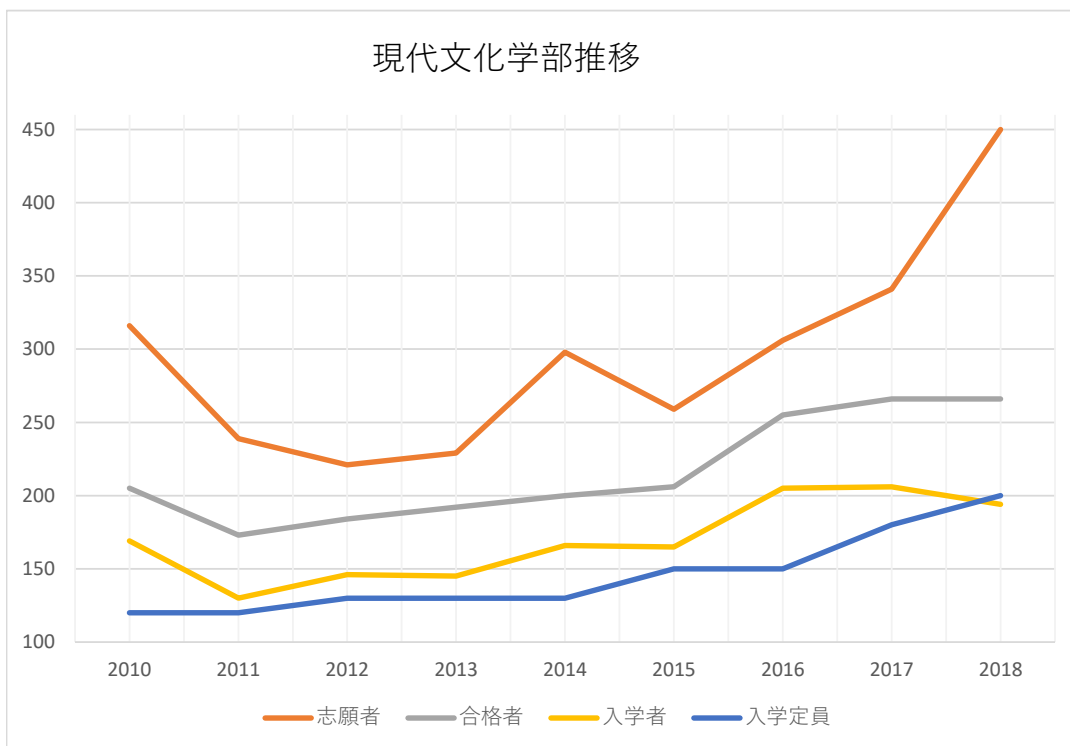
選択コース	男性	女性	総計	
	人数	人数	人数	割合
スポーツ文化コース	37	18	55	28.6%
スポーツキャリアコース	86	6	92	47.9%
国際文化コミュニケーションコース	10	4	14	7.3%
観光ホスピタリティコース	13	14	27	14.1%
未定	4	0	4	2.1%
総計	150	42	192	100.0%

※2018年度1年次生の志望状況（2019/2/9現在）



既設の学部（現代文化学部）の定員充足状況

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
志願者	316	239	221	229	298	259	306	341	450
合格者	205	173	184	192	200	206	255	266	266
入学者	169	130	146	145	166	165	205	206	194
入学定員	120	120	130	130	130	150	150	180	200
定員超過率	1.40	1.08	1.12	1.11	1.27	1.10	1.36	1.14	0.97



高校生

駿河台大学「スポーツ科学部」(仮称)
設置に関するニーズ調査 結果報告書

平成31年2月

ニッセイエプロ株式会社

I . 調查結果

1.高校生対象 調査概要

(1)調査目的

2020年4月開設予定の「駿河台大学スポーツ科学部」新設構想に関して、高校生のニーズを把握する。

(2)調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校2年生
調査エリア		宮城県、福島県、群馬県、栃木県、茨城県、 埼玉県、東京都、新潟県、長野県、富山県
調査方法		高校留め置き調査
調査対象数	依頼数	9,822 (56校)
	回収数 (回収率)	7,261 (50校) (73.9%)
調査時期		2018年12月7日～2019年1月23日
調査実施機関		ニッセイエプロ株式会社

(3)調査項目

高校生対象調査
①属性（性別／所属クラス／経験のある運動部・スポーツクラブ）
②高校卒業後の希望進路
③興味のある学問系統
④駿河台大学の認知
⑤スポーツ科学部の特色に対する魅力度
⑥スポーツ科学部の受験意向
⑦スポーツ科学部への入学意向

(4)高校生調査対象（回収高校）

高校生調査対象	
埼玉栄高等学校	松本国際高等学校
埼玉県立桶川高等学校	新島学園高等学校
埼玉県立桶川西高等学校	水戸啓明高等学校
埼玉県立滑川総合高等学校	正則学園高等学校
埼玉県立狭山清陵高等学校	正智深谷高等学校
埼玉県立鴻巣高等学校	青藍泰斗高等学校
埼玉県立坂戸西高等学校	学校法人石川高等学校
埼玉県立児玉高等学校	川口市立高等学校
埼玉県立進修館高等学校	大成高等学校
埼玉県立川口青陵高等学校	東海大学菅生高校
埼玉県立大宮東高等学校	東京都立光丘高校
埼玉県立大宮南高等学校	東京都立砂川高等学校
埼玉県立飯能高校	東北高等学校
埼玉県立飯能南高校	栃木県立小山南高等学校
埼玉県立北本高等学校	二松學舎大学附属高等学校
埼玉平成高等学校	東京都立拝島高等学校
つくば秀英高等学校	富山第一高等学校
茨城県立岩瀬高等学校	武蔵越生高等学校
茨城県立那珂高等学校	福島県立ふたば未来学園高等学校
加茂暁星高校	保善高等学校
霞ヶ浦高等学校	堀越高等学校
群馬県立吉井高等学校	本庄第一高校
国際学院高等学校	明成高等学校
作新学院高等学校	八王子実践高等学校
山村学園高等学校	
山村国際高等学校	

2.高校生対象 調査結果のまとめ

(1)回答者の属性

- ・ 本調査の回答者数は7,261人で、性別は「男性」が56.7%、「女性」が42.5%で男性の割合が高い。
- ・ 回答者の在籍高校所在地は、地元「埼玉県」が45.4%で最も高く、次いで「東京都」が24.6%が続いている。これ以降はいずれも10%未満となっている。
- ・ 回答者の所属クラスは、「文系クラス(文系コース)」が41.0%で最も高く、「コース選択はない」が25.6%、「理系クラス(理系コース)」が14.1%、「スポーツ系クラス(スポーツ系コース)」が11.9%となっている。
- ・ 経験したことのある運動部やスポーツクラブは「水泳」が27.3%、「サッカー・フットサル」が23.8%、「テニス」が16.7%の順となっている。

(2)高校卒業後の希望進路

- ・ 高校卒業後の希望進路(複数回答)は「私立大学に進学」が49.2%で最も高く、次いで「専門学校・専修学校に進学」が35.6%、「就職」が19.3%となっている。

(3)興味のある学問系統

- ・ 高校卒業後に進学した場合に、勉強したい分野は「体育・スポーツ・健康」が25.4%で最も高く、次いで「経済・経営・ビジネス」が19.7%、「看護・福祉」が12.4%、「教員養成」が10.0%となっている。

(4)スポーツ科学部の特色に対する魅力度

- ・ スポーツ科学部の特色に対する魅力度(「とても魅力を感じる」+「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計割合)は、全ての特色で7割を超える。
- ・ 魅力度が高いのは「各種スポーツ施設や、スポーツを心技体の面から学ぶ実験・実習施設が整備されている」が79.2%で最も高く、次いで「チームで課題を克服する授業を通じて、自分と違った意見や考え方、目標をもった人を認め合い、支え合う力を身に付けることができる」の78.5%となっている。